

第18回全国障害者スポーツ大会（福井しあわせ元気大会）プレ大会 兼
第18回全国障害者スポーツ大会バスケットボール競技
北信越・東海ブロック予選会実施要領

1 競技規則

平成30年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本障がい者スポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

- (1) チームの構成は、コーチ1名、アシスタント・コーチ1名、マネージャー1名および選手12名以内とする。ここでいうコーチとは、ゲーム中実際にチームを指揮する者を指す。
- (2) コーチ、アシスタント・コーチまたはマネージャーが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合、選手の数、選手を兼ねるコーチ、アシスタント・コーチ、マネージャーを含めて12名以内とする。
- (3) 男女別にチームを編成する。

3 競技方法

- (1) 試合は、福井県チームを除く男女別トーナメント方式とし、3位決定戦は行わない。また、トーナメント戦以外に、福井県チームを含む交流試合を実施する。
- (2) トーナメント戦の試合時間は、10分クォーター制とし、第1ピリオドと第2ピリオドの間および第3ピリオドと第4ピリオドの間にそれぞれ2分のインタヴァルをおく。第2ピリオドと第3ピリオドの間に10分のハーフ・タイムをおく。
- (3) 交流試合の試合時間は、8分ハーフとし、第1ピリオドと第2ピリオドの間に2分のインタヴァルをおく。第2ピリオドが終わったとき両チームの得点と同じだった場合は、公益財団法人日本バスケットボール協会競技規則第8条8.7を適用する。

4 服装等

- (1) 出場選手は濃色と淡色（白色）の2種類のユニホーム（シャツ）を用意し、原則として組合せ番号の若いチームが淡色（白色）のユニホーム（シャツ）を着用すること。ただし、2試合目以降については、両チームの協議により、ユニホーム（シャツ）の色の濃淡を変更することができる。
- (2) 番号は、0、00および1から99までの番号を使用し、審判とスコアラーにはっきりと分かるようにつけること。

5 試合球

試合球は、公益財団法人日本バスケットボール協会検定球とし、男子は7号球（モルテンGL7x）、女子は6号球（モルテンGL6x）とし、主催者が用意する。

6 組合せ

組合せは、平成30年に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いの下に代理抽選の上、決定する。なお、前回大会で優勝したチームを第1シード、準優勝したチームを第2シードとする。

7 チーム・ベンチおよび交代席

チーム・ベンチ等は、組合せ表の番号が若いチームをオフィシャル・テーブルに向かって右側とする。

8 その他

- (1) 監督会議は、競技開始前に行い、その場において申合せ事項を設けることができる。
なお、監督会議の時間および場所は別途通知する。
- (2) 開始式および表彰式に参加する選手は、原則として、ユニホーム（シャツ）またはジャージ（いずれかにチームで統一）を着用すること。
- (3) 競技場内へは、各チームを構成する者のほか、大会役員、競技役員、競技補助員、実施本部員および情報支援ボランティアならびにあらかじめ許可を受けた報道関係者および視察員等関係者以外は立ち入ることができない。
- (4) 会場内の秩序については、競技役員の指示に従うこと。
- (5) 荒天時他不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。